

ふなだた



No.167
28年/7

発行：山形県舟形町議会
平成28年7月22日



子どもたちによる病送り

5月臨時会・6月定例会概要	2 P
質疑応答	4 P
一般質問に7議員	6 P
議会報告会を開催しました	13 P
町民の声・議会活動・人事案件・請願	15 P
えがったなあ・編集後記	16 P



行事に先立っての祈禱

第3回臨時会
5月9日
6月定例会
6月8日～10日

雪の苦勞を軽くします 生活道路除雪路線の整備に補助金 450万円



整備予定の生活道路

- ・【主な補助要件】
- ・おおむね延長20m以上
- ・完成時の幅員が2.5m以上
- ・完成時にアスファルト舗装またそれに準じる構造
- ・1戸以上の住宅がある
- ・【補助率】
- ・工事費の90%

生活道路として個人が道路を整備する場合、要件を満たすものについて、補助金を交付するものです。

4路線・総延長270mで
450万円を計上

生活道路整備に補助金

6月定例会は、8日から10日までの会期で開催され、7人の一般質問に続き、一般会計補正予算等、全議案を原案どおり賛成多数により可決しました。

主な事業（28年度補正予算）

- ▽地域づくり支援事業 …… 200万円
(除雪機械購入補助金)
- ▽農業振興費 …… 150万円
(農作業安全緊急対策大型特殊免許取得補助金)
- ▽若あゆ温泉等管理事業 …… 480万円
(源泉ポンプ・ろ過器制御盤修繕費)
- ▽西ノ前遺跡周辺整備事業 …… 1億4773万円
- ▽舟形町住宅総合整備事業 …… 200万円
(在来工法住宅建築・リフォーム補助金)
- ▽婚活推進事業 …… 151万円
- ▽農業集落排水施設管理費 …… 300万円
(長者原・富田美水センター修繕費)

発議第3号

旧堀内交流センター跡地への利活用 計画策定の促進についての決議書

全会一致で可決

〈提案理由〉

陵風会による旧堀内交流センター跡地への特別養護老人ホームの建設計画について、町当局から説明・提案を受け、堀内地区活性化にも繋がることから、用地の無償貸付に対し、議会としても同意した経過があります。しかしながら、その後、陵風会への補助金の対応や不透明な契約内容等が表面化したことにより、特養建設が白紙撤回されたことの報告を受けました。

当議会においては、補助金の対応及び建設条件等について当初と差異が生じていることや陵風会の意向もあることなどを総合的に判断し、白紙撤回については、承知せざるを得ないと考えます。

については、速やかな事後処理とあわせ、堀内地区活性化のため、旧堀内交流センター跡地の利活用計画を早急に策定されることを要望するものである。

舟形町議会

主な審議された議案

第3回臨時会

- 平成28年度一般会計補正予算
- サケふ化場新築工事請負契約 1億886万円
(相手方 丸充建設(株))

6月定例会

- (株)舟形町振興公社経営状況の報告
- 平成28年度一般会計補正予算
- 平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- 町有財産(長沢交流センター)の無償貸付
(リングロー(株)が舟形支店として活用)
- 小型動力ポンプ付消防積載車の購入契約
2台(内山・紫山) 1624万円
(相手方 (株)長谷川ポンプ製作所)
- スクールバスの購入契約 820万円
(相手方 新庄もがみ農業協同組合)
- 町固定資産評価審査委員の選任
- 町人権擁護委員の推薦

発議第4号

舟形町議会 活性化特別委員会を設置

6月定例会において、議員発議で特別委員会を設置することにしました。

1. 名称 「舟形町議会活性化特別委員会」
2. 設置の根拠 地方自治法第110条並びに委員会条例第5条及び会議規則第69条による設置とする。
3. 目的 町民の代表機関、意思決定機関である議会において、議会運営が舟形町議会基本条例に則して行われているかを検証し、町民の意見、社会情勢を勘案して、必要と認めるときには見直しをする。また、議会改革についての課題を調査検討し、更なる議会の活性化を推進していくことを目的とするものである。
4. 委員の定数 議長を除く9名の議員
5. 期 間 平成28年6月10日～
平成29年4月30日

正副委員長長の選任も行われ、委員長に加藤憲彦議員、副委員長には叶内富夫議員が選任されました。加藤委員長より、特別委員会としての継続審査の申し出があり、所管事務について閉会中に調査することを決定しました。

質 答 応 疑

第3回臨時会

平成28年度一般会計補正予算

議員 農作業安全緊急対策支援事業費補助金の内容は、また、本事業は今年度限りなのか。

産業振興課長 道路交通法に伴う大型農業機械の免許取得にかかる補助事業で、事業費の半額または5万円を限度とします。今年度限りの事業と考えています。なお、今年度は30名分の補助金を予算化しています。



大型化が進む農業機械

※長さ4.7m以下、幅1.7m以下、高さ2.0m以下、最高速度15km/h以下という規格条件の一つでも超える車両を道路で運転する時は、大型特殊免許が必要です。

議員 27年度の役員報酬54万円の内訳と28年4月1日以降の役員体制は。また、代表取締役になった酒井副町長から運営の基本的な考え方をお聞きしたい。

産業振興課長 役員報酬は前社長分が10万円×3か月、取締役1名分が2万円×12か月です。役員体制は、代表取締役は酒井副町長、取締役は沼澤正信氏、中山進総務課長、沼沢弘明産業振興課長、伊藤恵子氏、監査役に齊藤徹氏、沼澤淳氏です。
副町長 27年度は暖冬や原油価格の下落、近隣施設の休業等で外見上は経営が好転しているかと思う。今後の運営の課題としては、収支構造の見直し、また開業以来24年が経ち、施設が老朽化しているため、大規模改修についても検討していく必要がある。
加工所については、新商品・特産品の開発に取り組んできたが、なかなか成果が見えにくいことからこれまでの取り組み実績等を分析するなど、引き続き検討が必要であると考えています。



常温でも保存可能 レンジで簡単「鮎ごはん」

議員 西ノ前遺跡周辺整備事業の工事請負費1億4773万円の工事内容と、トイレは設置するのか。

教育次長 公園整備費として1億2131万円、情報看板増設費2箇所369万円、町道拡張工事費2273万円です。トイレの設置については必要と考えています。

議員 公民館費477万円補正予算計上されているが、その内容は。

教育次長 工事請負費200万円は、町中央公民館電気設備の改修工事分です。地区公民館施設整備費補助金277万円は、各町内会より申請があった公民館改修工事5件分です。公民館活動を活発にするために、補助率を20%から50%に引き上げました。

議員 保育所費で79万1千円の工事内容は。

教育次長 0歳、1歳児の保育スペースを、幼児の動きに応じた間仕切りをして、3パターンに分けて保育していくための工事です。

サケふ化場新築工事請負契約の締結

議員 サケふ化場新築工事の入札に参加した業者は何社で、入札率は。

産業振興課長 大場組・沼澤工務店・丸充建設の3社による指名競争入札で、入札率97・75%で丸充建設株式会社が落札しました。

平成28年度一般会計補正予算

議員 生活道路整備費補助金の内容は。

地域整備課長 冬期間除雪を必要とする場所で、町の小型ロータリやハンドガイドの除雪機が、作業をしやすいするための生活道路整備への補助事業です。

議員 28年度の婚活事業は。

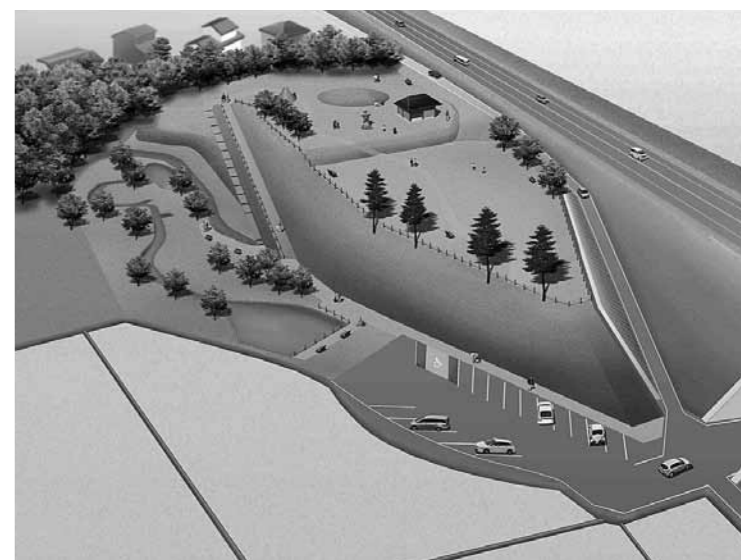
まちづくり課長 今年度は、結婚サポートセンターをまちづくり公社に委託し、イベント開催時などは都市部の民間の結婚相談所に協力をお願いする計画をしています。(今年度は8月と9月に実施します。)

議員 在来工法リフォームに対する補助条件を町外業者施行でも該当するよう緩和できないか。

地域整備課長 在来工法リフォームについては町内業者に限定しているが、県の補助対象となる住宅リフォーム総合支援は町外業者でも該当するようにしています。

議員 農産物放射能検査手数料4万円とあるが、町では検査を実施しているのか。また、検査結果については。

産業振興課長 町で独自に、長沢、舟形、富長、堀内の4地区のわらびを検査したところ、すべて基準値以下でした。



西ノ前遺跡周辺整備事業完成予想図

6月定例会

平成27年度舟形町振興公社経営状況の報告

議員 27年度の加工施設の販売金額の計画と実績は。また、28年度は500万円の補助金になっているが、今後、町ではあと何年くらい支援していくのか。

産業振興課長 27年度の計画は1000万円となっていました。実績は874万円でした。今後の補助金については、今年度までと考えています。



修繕が進む富田美水センター

平成28年度農業集落排水事業補正予算

議員 農業集落排水施設管理費300万円の内容と、これは突発的な修繕が必要だったのか。

地域整備課長 長者原美水センターの流量調整ポンプの修繕と、4月の強風で破損した富田美水センターの屋根葺き替えて、計画外の修繕です。



齋藤 好彦 議員

本町の災害対策は万全か

防災計画に基づき対策を進める



町民参加による安否確認訓練（長沢地区）

質問 災害発生時に町長が発令する避難勧告等に
従い、確実に避難することが
できる体制、訓練が必要
であり、各地域の自主防災
組織と町の連携が極めて
重要であると思えます。町
民の安全を守る避難勧告
や指示の最終判断者であ
る町長として、本町の災害
対策についての考えを伺い
ます。

町長 町の自主防災組織
化については、現在、29
の町内会や施設で組織化
されており、防災訓練や
安否確認訓練などを行な
っていますが、全町内会
で設立し、避難訓練や安
否確認訓練の実施もお願
いしています。また、町
内のAED設置を13台か
ら19台に増やし、緊急時
の環境整備も行いました。

質問 近年、地域の活性
化にもつながると注目さ
れているのが「泊まれる
学校」としての利活用で、
人気を集めています。旅
行情報サイトなどでも、
廃校舎の宿泊が「廃校キ
ャンプ」と紹介され、家
族連れのほか、大学サー
クルの合宿所としての利
用も多くなっています。
また、地域の避難場所で
もある廃校舎を宿泊施設
にすることに、災害
時に有効利用が可能にな
ると思います。このよう
な施設整備について町長
の考えを伺います。

今後、少ない職員の内
容で危機管理をどのよう
にしていくべきか、また
自助、共助、公助のすみ
分けをどのようにしてい
くべきかを今年度中に検
討してまいりたいと考え
ています。
**廃校舎利活用による
地域活性化を
維持管理面で利活用は
困難**



教室など利活用が待たれる廃校舎

町長 宿泊施設として利
活用が可能な旧富長小学
校は、他の小学校と違い
間取りがオープンスペー
スでの教室のつくりにな
っており、使い勝手とし
ては幅広い用途が想定で
きる建物であると思いま
す。しかしながら、町に
は自然体験や合宿施設と
して活用できる農林漁業
体験実習館があります。

また、宿泊施設としては
若あゆ温泉の「コテージ」も
あり、維持管理等も考え
ると、現段階での空き校
舎の宿泊施設としての利
活用は困難であると考え
ます。



奥山 謙三 議員

行財政運営を問う

適正な職員数、体制について、今年度中に計画を策定

※一般質問とは：定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問・政策提言をすることです。



町の舵取りを担う新町長

質問 ①町が考えている、
適正な正職員と臨時職員
の人員配置は何人程度と
考えているのか（ほほえ
み保育園は、指定管理に
移行の予定なので、除い
て回答してください）。

②行財政運営の効率化と
取捨選択が必要とあるが、
具体的な取り組み内容は、
③酒井副町長は町のため
に具体的にどのようなこ
とを行なっているのか、
また、行うのか。
以上3点について質問
します。

町長 ①保育園を除くと
現在の正職員数は70名、
臨時職員はパートを含め
て55名となっています。
現状としては、正職員数
は危機管理などを考慮す
れば、少ないと判断して
います。
今年度中に、行政二一
ズを把握し、課制・班
制・適正職員数を検討し、
新たに計画を策定してま
いりたいと考えています。
②来年度の実施に向け
た保育園の民営化に向けた

取り組みを行なっていま
す。事業の取捨選択につ
いては、管理業務の委託
や事務の効率化を図って
います。補助要綱上、期
限を決めて取り扱うルー
ルとしているが、補助金
等は住民の要望もあり、
なかなか削減できない状
況にあります。
③現在行なっている主
な仕事は、町長の代理出
席、代理決裁、危機管理
への対応、県と町との事
業調整や情報収集、重要
案件へのアドバイス、な
ど豊富な経験と判断力を
いたしながら業務を行
なっているところです。

人口減により地域活動が
困難な町内会への対応は、
現在どのようなことを行
なっているのか。今後の
各町内会を中心とした地
域づくりについて、町の
考えを質問します。

**自立型地域づくりを
問う**
町、組織と一緒に検討を
進める



町内会長会議

町長 地域の点検や課題
解決のお手伝い役として
「集落支援員」を配置し
ています。今後、連合町
内会組織の役員の皆様方
にも現状をご理解いただ
きながら、地域活動が困
難な町内会の在り方や考
え方を話題にし、一緒に
検討していきます。



小国 浩文 議員

農業振興策を問う

新たな振興策を拡充



新たな園芸作物として注目されているアスパラガス栽培

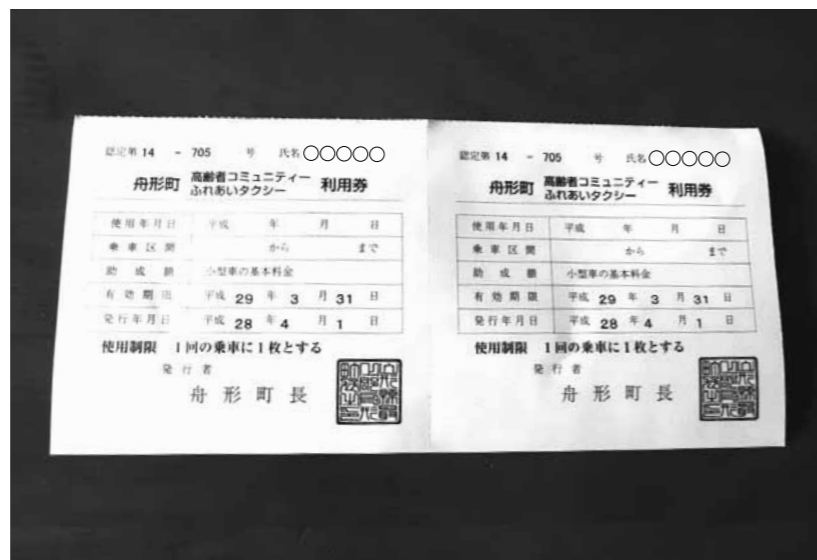
【質問】 政府においては、平成29年を最後に、米の直接支払交付金を終了する見込みですが、このような状況下では、ますます農業経営が大変な時代に入っていくようです。そのような中、どのように農業振興策に取り組

【町長】 私の農業の政策については、3月議会でも述べたように、ひとつは売れる米づくりです。このことについては、出荷

【質問】 舟形町においては福祉サービスに力を入れ、町民もある程度満足していただいているようですが、高齢者が快適な生活を送ることが健康寿命の伸長と、健康寿命と平均寿命の差を近づけることにもつながると思います。そのためには、新たな福祉施策も含め、さらなるサービスの向上にどのように取り組んでいくのかを、町長に伺います。

高齢者福祉について 高齢者福祉サービスの向上を

業者・団体の米販売戦略や品質の向上、安定生産技術の普及等、生産者に求められる課題があり、求められる課題があります。そのため、意見交換会を行うなどの調整を図りながら、今年度中に、売れる米づくりの生産販売体制を構築する推進組織の立ち上げを考えています。



80歳以上に交付されているタクシー利用券

【町長】 舟形町においては、独自サービスも含め、他市町村に引けを取らない高齢者福祉サービスを展開していると思います。高齢者がいきいきと暮らし続けるためには、出来る限り自分の力で生活することが必要であり、介

護を要する状態となることを防ぎ、心身の状況を維持し続けられるよう、地域支援事業に取り組んでいきます。今後、町として、新たな高齢者サービスの展開についても検討していきます。



石山 和春 議員

産業振興で地域活性化を

関係機関と連携し取り組み



最上小国川に6箇所設置されているヤナ場

【質問】 舟形町総合発展計画の基本理念の一つに、産業振興と地域活性化がうたわれています。猿羽根山地蔵尊、清流小国川、若あゆ温泉、縄文の女神と観光資源はありますが、ただ通りすがりになっていないのか危惧しているところです。地元で経済的効果を生

【町長】 町総合発展計画の中に農林水産業の振興に加え、商業、企業誘致、観光振興が示されています。主な施策としては、

まない限り活性化には繋がらず、観光基盤の整備が喫緊の課題とされています。観光審議会の中でも議論されているとは思いますが、清流小国川をどう活用するかが大きなポイントだと思っています。漁協との協議が当然必要となりますが、観光ヤナ場の設置を検討してはどうでしょうか。町長の考えを伺います。

また、地元の特産品、加工品、水産物、山菜等の販売はもちろん、雇用促進、交流人口増加のためにも「道の駅」設置の考えはないのか伺います。

町の観光資源となる素材は数多くありますが、宿泊施設の減少、地元商店の廃業、飲食産業の減少など、地域と一体となる取り組みも無いことから、経済効果も極めて低いものと思っています。引き続き関係機関と連携し、観光振興と産業振興に取り組みでいきたいと考えています。

小国川を活用した観光振興につきましては、これまで体験学習受入れ、広域的な体験ツアーの受入れなど実施しているところですが、地域への経済効果は期待できにくい状況であることも事実として認識しています。

観光ヤナ場設置であり、運営形態や漁業権行使規則との調整、施設整備に係る経費やその後の施設維持管理などを考えると、現段階では難しいと判断しています。今後とも小国川漁協や関係機関とも連携しながら、流域の振興発展に努めていきたいと考えています。道の駅設置についても、有利性を理解しつつも、財源の確保や、町単独ではなく最上地域全体で検討し広域的に考えていく必要があると思っています。



休日に込み合う道の駅（ねまる）



伊藤 欽一 議員

危機管理体制について問う

防災に強いまちづくりを進める



被災直後の若鮎まつり会場

【質問】 去る4月に発生した熊本地震で、犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興を願っています。

昨年の9月に小国川の大洪水により、若鮎まつり会場に設置した仮設トイレをはじめ、多くの資材が被害を受け、まつりの開催が危ぶまれましたが、町建設業協会や消防団員、町民の皆様、町職

員等多くの方々からの協力で、あの状況から一日で復旧し開催することが出来ました。その協力体制と行動力に町内外から称賛の声がたくさん聞かれました。しかし、危機管理体制の機能が十分に発揮されたのか、いささか疑問も残ります。半年以上経過しましたが、その後、危機管理について検証がなされたのか伺います。

【町長】 4月28日の消防・防災担当課長会議において、気象台に対し、上流域で避難勧告が出された場合、下流域にも出すよう要望しました。現在は気象台との市町村専用電話（ホットライン）も構築されています。

災害発生時に市町村の求めに応じ、避難指示や避難勧告の対象域、判断時期について、町として国へ助言を求める体制ができました。現在、自主防災組織は29町内会や施設で組織化されていますが、全町内



町民の協力により実施される片付け作業

会で組織化されるようお願ひしているところです。また、防災ガイドブックも新たに作成し、住民の防災意識の高揚と対処の仕方について取りまとめています。

今後は、国と県や気象台等との連携を図り、知



佐藤 広幸 議員

町に観光戦略はあるのか

交流人口の拡大を図る



憩いの場になっている「ぎやらりい悠里」

【質問】 町の総合戦略の中に、観光資源の磨き上げや、新たな魅力の創出、オリジナル特産品の開発等を通して、観光客が町内観光を楽しみ地元経済効果を生み出せるように循環の仕組みを整備しますとあります。その一環として、西ノ前遺跡の周辺整備や、観

光物産館を舟形駅へと移動しています。こうした、一連の観光資源開発の中に猿羽根山の今後の整備計画と小国川へとつながる整備を進めれば、正に歴史と自然が一体となった循環できる観光資源が出来上がるものと考えますが、町長はどのような考えですか。このような視点から、町には経済効果を生み出す循環の仕組みを作る戦略はありますか。

【町長】 町の観光資源として、猿羽根山、小国川、歴史、自然とも町を代表するものがあります。現在、猿羽根山に関しては農林漁業体験実習館や猿羽根山地蔵尊、さばね山そば、ぎやらりい悠里などの施設があり、民

間の活力を生かしていただいており、町では草刈りや枯れ木の伐採などの環境整備や、鳥海山、月山、最上川を眺望できる立地から景観の整備とPRを行なってきました。特に、農林漁業体験実習館から南方の眺望は、「猿羽根山から見る月山と最上川の眺め」と題して、山形県景観物語という県内33箇所を景観を紹介した山形県のサイトに掲載されており、訪れた方々からはたいへん好評を得ており、猿羽根山の整備計画と小国川へとつながる整備については、今ある施設や資源を生かすことが大切だと考えています。

また、小国川に関しては最上小国川清流未来振興機構において、小国川を中心とした振興策について振興計画を策定し、観光客150万人を目標にその対応策について検討を重ねています。

町に経済効果を生み出す仕組みの戦略については、この町の自然、歴史、食などの生活文化を活用した体験観光の推進や、ふるさと納税の取り組みによって町を好きになってもらいながら交流人口の拡大を図っていくことが、町に経済効果を生み出す戦力の一つであると考えています。



農業体験を通して観光につなげたい



佐藤 勇 議員

子育て支援住宅から定住への取り組みは「土地利用のグランドデザイン」を策定し定住推進に取り組む

質問 人口流出に歯止めをかけるため、子育てしやすいまちづくりをモットーに、住宅整備、さらに子育て支援を目的とした集合住宅3棟を建設し、対策を行なっています。しかし、集合住宅については、子育て支援対策のため入居条件があり、一



増棟の要望が多い子育て支援住宅

定の時期が来れば住めなくなり、入居者は不安に思っているのではないのでしょうか。

現在入居している方の出身別に、町内・町外で何世帯か、また、今後子どもの成長と共に退去しなければならなくなり、いつごろ、何世帯が対象となっているのか。

教育支援、定住支援、結婚支援と、きめ細かい支援策として、子育て支援住宅を3棟、15世帯分を整備してきました。この住宅は、募集の段階から期限付き入居住宅であり、入居後の子供の成長により、将来、入居の要件を満たさなくなる時期が必ず到来することになります。



3棟が建設され、3区画が残る内山分譲地

区画	面積	価格
1区画	3,100㎡	123,872円
2区画	3,500㎡	134,874円
3区画	3,100㎡	127,465円

舟形町を「産み、育て、住み続けたい町」にするためにも、定住促進のために、住宅整備計画について、空き家対策とともに、取り組むべきではないか伺います。

現在入居者の出身別と明渡し時期は、下記の表の世帯数となります。なお、期限内に子供が出生した場合は、年齢の低い方が対象となり更に延長となります。入居中に、定住に向けた住居新築の準備など生涯設計をしていただければと思います。今後は、空き家バンクの有効利用や、住宅建設用地としての地区が最

町長 舟形町では、子育て支援事業の基本方針として「子育てするなら舟形町で」を合言葉に、保健医療支援、福祉支援、

適なのか、町民のニーズを的確に把握し、分譲地の造成計画を含めた「土地利用のグランドデザイン」を策定して、引き続き町に定住していただくためにも、定住環境整備推進に取り組みたいと考えています。

入居者の出身別世帯数	明渡し予定年度別世帯数		
新庄市	7	平成33年度	1
尾花沢市	2	平成34年度	1
村山市	2	平成36年度	5
戸沢村	1	平成37年度	2
町外合計	12	平成39年度	3
町内	3	平成40年度	2
合計	15	平成41年度	1

第7回議会報告会

4月4日～6日に議会報告会を開催し、各会場で行った質問や要望事項を議員全員で検討し、町長へ報告しました。主な質問と回答は次のとおりです。

議会に対する要望・意見

質問 議会はどのように金がかかるのか。

回答 議員年金は現在廃止されましたが、平成23年以前の議員年金の原資としての支出が主なものです。大きな金額に見えていますが、ほぼ国から交付税として入ってきます。

また、活動の日数については、定例会と臨時会だけでなく、各常任委員会でも会議や研修会があるので、相当な日数があります。今後委員会の日数を載せて報告するようにしたいと思います。

質問 町民から議員を減らさという意見が出るのは、議員が地域の住民のために役立っていないからで、もっと目的を持ち活動し、住民の意見に応える姿勢がほしい。

回答 住民の要望に添えるよう努力します。

質問 議員は10人も必要か。何をしているのかわからない。

回答 議会の構成を変えて、議会運営委員会と3常任委員会にしたので、人数が少ないと活発な議論が出来なくなりました。適切な判断をするにも5～6人の委員は必要と考えています。

参考までに、議会の活動は紙面に掲載しているだけではなく、委員会や議員派遣など日数にする年間100日以上になっており、議長の出張は60日以上にもなっています。

質問 議員の質問には、本人が役員もしくは代表になつて立場から利益を誘導するような場面がみられるが、議会の中での対応はどうなっているのか。

回答 利益を誘導するような質問はしないように、注意をしています。本人と関わりがあるような売買契約に関する議決の際は、退席しています。

質問 1人で役職を何役もやっている議員がいるが、役を降りるつもりはないのか。

回答 以前はあて職が多かったのですが、そのようなものはだいぶ減りました。一方的に辞退や退職するようなことは言えないので、個人の考え次第ですが、極力、兼職はしないようにしていきたいと思えます。



質問 いろいろな研修等に行っているようだが、内容が町民に伝わらず、理解できない。

回答 議会報に掲載していますが、字数の制限により詳細に掲載することが出来ていないので、理解されない部分があると思います。より伝わるような記事にしていきたいと思えます。

質問 ふるさと納税の寄付金について。一気にこれまで伸びた理由は？誰かが努力してくれた結果だと思っている。その努力を議員の皆さんにも認めたい。今後の方向性は？

回答 まちづくり課で仕組みを考えています。国の制度がいつまで続くかという不安要素もあるが、今後も維持できるようにしてもらいたいと思っています。

町に対する要望・意見

産地水産業強化支援事業とは、どのような内容が教えてほしい。アユやサケに使う金額が大きい。町民にあまり恩恵がないような気がする。また、これは補助事業か。町の負担はどのくらいか。

最上小国川流域の漁業生産の促進を図るため、老朽化の著しい長者原のサケふ化施設に替えて、現在の鮎中間育成施設に隣接する施設として新築する補助事業です。事業費の国補助(1/2以内)、県補助(1/4以内)、残りが町負担となります。(産業振興課)



サケふ化場の新築工事

サケふ化場新築工事
強い水産業づくり交付金事業に係る
サケふ化場新築工事を実施しています。
平成28年度強い水産業づくり交付金事業
工事名 サケふ化場新築工事
期間 平成28年5月10日～平成28年10月15日
設計・監理 株式会社 双葉建設コンサルタント

人口減少への対策は。

平成27年に、町では「舟形町人口ビジョン」「舟形町総合戦略」を立て、平成31年度までの5年間の具体的な施策を「舟形町で働きたい、住みたい・帰ってきたい、産み育てたい、暮らし続けたい」を基本目標に展開することとしています。

「人口ビジョン」では、国立社会保障・人口問題研究所の推計を踏まえ、町独自のシミュレーションとしての戦略人口ということによって2040年に4000人超、2060年には3000人超と設定し、総合戦略に基づいて人口対策に取り組むこととしています。(まちづくり課)

若あゆ温泉の料金が上がると聞いたが。

現在、舟形町振興公社取締役会で料金の値上げを議題として検討していますが、実施の有無も含めて要検討課題としています。(産業振興課)

国民健康保険税未納の状況は。今後税率が上がる可能性は。

保険税の3月末未納額は、27年分で688万円、滞納繰越分で2173万円となっています。27年度に保険税の見直しを行いました。保険税の税率改正は、医療費の動向を予測しながら行います。(税務福祉課)

若者を増やすには、短大とか、大学を誘致したらよいのでは。

大学誘致については、町単独で展開できるものではないと考えています。県や最上地域の自治体が協力して体制を整備していかないと、困難なものと思います。若者を増やす施策については、国の政策においても地方創生として提唱され、全国で人口対策としての施策が検討されている状況です。町では平成27年に策定した舟形町総合戦略に基づき施策を展開していくこととしています。(まちづくり課)

教育費について。中学校の校舎が老朽化している。建て替え等の考えは。

中学校の校舎は築33年になるので、改修工事を実施し使い続けるか、または、保小中の近接型一貫指導体制の構築を視野に入れて舟形小学校の近くに移設するのかを、これから検討します。(教育委員会)

中学校のバス通学の開始時期を、もう半月位早くしてもらえないか。

冬期間の運行区間について、3年前から半月早めて10月中旬から運行しています。10月初旬からの実施について関係者と検討します。(教育委員会)

声 声 声
皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私は戦後、この舟形に昭和22年に生まれました。それ程食糧不足時期でもなく育ち、平和な人生だったと思います。これからの子どもたちの未来も、食糧難だけはあってはならないことだと、常々感じているところです。

卒業と共に農業に励み、冬は舟形では仕事もなく出稼ぎという感じでした。子どもたちの成長と共に、なるべく一緒にいたいという思いから、なめこ作りに専念し、夜は猿羽根山スキー場に主任として12年間勤務させていただきました。今思えば、それが私にとって一番の思い出となった次第です。

現在は、リサイクルの仕事で頑張って町に貢献しているつもりです。子どもたちもそれぞれ巣立ち、二人きりになってみますと、ここで生活するにあたり一番心配なのが雪問題です。今は大丈夫ですが、10年、20年後後運転も出来なくなることでしょう。これからの人生、いつまでも元気でいるためにも、食事も出来、健康トレーニングセンターで年相応の汗をかける、そんな老人向けマンシオンなど出来ないものか、これが私の老後の小さな夢です。



納税組合長 庄司喜代治さん (太折)

町民にわかりやすい紙面編集とは

議会広報研修会(平成28年5月25日)

第33回町村議会報研修会が山形国際交流プラザで開催され、当議会からも広報常任委員と事務局職員が参加しました。

今年度は、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に、「紙面編集・表現のポイント」について研修を受けました。その後、県内13町の広報誌に基づいて、具体的にクリニック形式による説明を受けました。

今回の研修を活かし、町民にわかりやすい表現また、町民に読んでいただくための紙面編集を工夫しながら、充実した議会だよりづくりに努めていきます。



受講する編集委員

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



渡會 春好氏 紫山 (68歳)

任期は平成28年8月1日より平成31年7月31日まで

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員法に基づき、山形地方事務局からの候補者の推薦依頼により提案され同意したものです。

板垣 光昭氏 新堀 (62歳)

任期は平成28年10月1日より平成31年9月30日まで

請願

6月定例会で審査した請願は次のとおりです。

スマッシュ長沢修繕工事に関する請願書

不採択

このたびの請願については、公有財産無償貸付契約書第6条第1項により不採択としたが、貴事業所が果たしている障がい者支援は重要と理解している。今後スマッシュ長沢の経営については、議会としても注視していく必要があると考える。

請願者

特定非営利活動法人もがみ福祉ネット

理事長 高橋 剛



シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さんをご紹介します。

えが ったなあ



□どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？
大学の部活で知り合いました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？
ご年配の方々がとても元気で、少なくともつつある若い世代の方々がたくましく暮らしていて、強いイメージを持ちました。

□舟形町での生活はどうですか？
地区のお祭りに参加したり、郷土の旬の食べ物をいただいたり、たくさんの方々や家族に支えられ、充実した日々を過ごしています。

□舟形町の良いところ・悪いところはありますか？
自然が豊かで、人々が温かく、子育てに最適な町だと思います。

□舟形町に望むことはありますか？
子どもたちが、一度離れても戻って来なくなる、また、他の場所に住んでいても誇れるふるさと舟形町であってほしいと思います。

舟形町に嫁いで来たお嫁さんです。

今回は、鶴岡市から経壇原に嫁いで来た仲野春華(旧姓小林)さんです。

皆さんよろしくお願いします。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)
舟形町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111(代)

表紙のこぼれ

病送りは、諸説あるようですが、流行病の発生しやすい夏季を前にして、集落内から一切の疫病の悪霊を送り出し、人々の健康や安全を祈願する行事であることは確かです。

舟形本町においては、行事の実施に先立って、若者の幹部がお札をもらってきて、これを巡行の時、集落の四至に立てる。

また、長沢地区の親形の病送りの、豊作を祈る所作とみられている。以前は小国川の上流部から順次、日を違えていたようだが、今は同じ日が多いようです。

編集後記

総理大臣においては、消費税の引き上げを先延ばしすることを決定しました。

国民にとっては、支出が減る半面、社会保障を考えた時、これからの国の財政が心配されるところでもあります。

舟形町の面白い話題としては、昨年、ふるさと納税で米の返礼品取扱量が日本一に輝いた訳ですが、28年度も5月の段階で、昨年同様の金額になっています。今後もまちづくり課に頑張ってください。応援してまいります。

また、今回の議会だよりには4月に行われた議会報告会の質問と回答を掲載していますので、ぜひ見ていただきたいと思います。

(小国 浩文記)

発行責任者

議長 八 鍬 太
議会広報常任委員会
委員長 斎藤 好彦
副委員長 奥山 謙三
委員 佐藤 勇春
委員 石山 和文
委員 小国 浩一
委員 伊藤 欽